



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

2015年10月号ブリテン 第305号

2015-2016年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「信念あるミッション」 "Mission with Faith"
「愛をもって奉仕しよう」 "Through Love, Service"
「原点に立って、未来へステップ」 (甲府クラブ)
「ワイズメンとして一歩前進」 (甲府クラブ)
「若い世代と経験と活力の交換」

会長 大谷博愛
副会長 小山憲彦
書記 菺淵光彦
会計 柴田弘子
直前会長 長津徹
担当主事 岡田ナスカ

Our Motto 国際標語
国際会長 Wichian Boonmapajon
アジア会長 Edward K. W. Ong
東日本区理事 渡辺 隆
あずさ部部長 標 克明
サンライズ会長 大谷博愛

10月第一例会のお知らせ

とき 10月8日(木曜日) 19:00~
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ 500円
とうばん 巻組)小山(久)、内迫、小野田、菺淵、染谷、長津

◆プログラム

開会点鐘 会長
ゲスト・ビジターの紹介 会長
卓話「YVLFに参加して」
「全国リーダー研修会に参加して」 山手Yリーダー
テイスティング 一同
ハッピーバースデー 会長
報告・連絡事項 会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
伊丹亭 21:15~

10月以降の予告

10月10日(土)~11日(日) DBC西条酒祭懇親会 18:00~
10月17日(土) 第二例会 山手センター 16:00~
10月18日(日) あずさ部部会 甲府市 14:00~
11月17日(火) 山手センター3クラブ合同例会 18:30~
11月21日(土) 第二例会 山手センター 16:00~
12月 5日(土)~ 6日(日) 山中クリスマス 13:00~

9月第一例会報告

菺淵光彦

9月第一例会は、9月10日(木)19時から東京YMCA山手センターで行われた。まず、大谷会長の開会点鐘と挨拶、ワイズソングの斉唱、ワイズの信条の唱和につづいて、卓話は東日本区直前理事の東京クラブ田中博之メンでした。卓話題は「ワイズ世界とアジアと日本」という題で、パワーポイントを駆使してお話しを進められた。その話をうかがいながら、田中さんの歯切れ良い話しのテンポの中から、矢継ぎ早にクイズ形式の質問が名指しで突然あてられた。配布された4ページのレジメをひっくり返しても、ヒントはどこにも無く、回答者は当てずっぽうで答えるが、大体近い答えが回答できたようだ。さすが、元LT委員長でもあった田中さん、ワイズにとって答えやすい質問を適材適所に鑿めての卓話だった。

【次頁へ続く】



【卓話者：直前東日本区理事の田中さん】

10月のハッピーバースデー

5日 小山 憲彦 さん
8日 染谷 千妃路 さん
24日 柴田 弘子 さん
27日 深田 晶也 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

9月例会出席者

在籍 18名
メン (Make up 1名) 14名
メネット・コメット 0名
ゲスト・ビジター 1名
出席率 78%

●9月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：1,710円(累計：7,267円) ●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

京都のアジア大会の話からはじまり、国際親善を図ることの重要性を話され、ワイズメンズクラブのクラブ数・会員数の推移を国際全体・地域別・国別に比較・検討しながら、その減少傾向を分析発表される中で、特に東京サンライズクラブは会員数の推移が大きく落ち込むことも無く、減ればいつの間にか元に戻り平坦であることを指摘・評価された。これは良好な推移であるという分析結果とのことだが、現在サンライズクラブ平均年齢59歳という状況の中、ワイズ高齢化というキーワードのもとで、Y's定年制を踏まえつつ、今後の会員数を増やしてゆく必要性を感じ取ることが出来た。さらに、「ビジョン2022」という理念のもとに、「2022に向けて」という目的と手段を寄り具体的にした五つのテーマの説明があった。最後にトピックスとして、「アジア地域へのオーストラリア編入」「国際本部がサテライトオフィスとしてタイのバンコクに新設。」「国際議員定数の減少、21名から15名へ。」などの、時間を忘れてしまうほど内容の濃い卓話であった。



ひきつづきテースティングタイムとハッピーバースデーが行われ、江原メンと小野田メンが該当。出席の江原メンの誕生日を歌とプレゼントで祝った。

報告と連絡では、「9/23チャリランには、菰淵、立田、長津の3名が参加。9/26～27の富士山例会には、御園生、長津、立田、菅原、小山(憲)、菰淵。が参加。10/10からの西条酒祭DBC東広島訪問では染谷、長津、小山(憲)が参加。10/18のあずさ部会は長谷会長、御園生、長津、柴田、小山(憲)が参加。10/18の山手バザーには出店しないため、江原、江原メネットがお客様として参加。」などが話された。つづく、YMCA報告では、9/25の霊南坂教会のコンサートチケットのアピール、国際協力募金の報告、9/11から山中湖センターで行われるリーダーズフォーラムの報告などが岡田担当主事からあった。ニコニコ1分間スピーチのあと、大谷会長による閉会点鐘で第一例会は終了した。

二次会はいつもの本音で語ろう会。例会の続きを“本気”で“本音”で語っているうちに、バスもなくなりやつのことでミッドナイト、家に辿り着いた。

出席者：大谷会長、江原、岡田主事、小山(憲)、小山(久)、河野、菰淵、柴田、菅原、長津、御園生、田中さん(卓話者/東京)

9月第二例会報告

立田佳明

9月19日(土)18:00より伊丹亭で開催。参加人数が少なかった

ためにお散歩例会を来月に延期し第二例会のみの開催となった。まずブリテンの原稿担当を決め、23日のチャリティーラン、26日～27日の富士山例会、10月10日～11日の西条酒祭、18日のあずさ部会の参加確認を行った。その後「本音で語ろう会」ということで大谷会長の乾杯で宴が始まった。伊丹亭の美味しい料理とお酒で話も弾み、楽しい時間を過ごした。

出席者：大谷会長、小山(憲)、菰淵、柴田、染谷、立田、長津、御園生

国際協力募金

菰淵光彦

9月5日(土)自転車に乗って、新宿の国際協力募金に募金する方の活動に行っていました。まずは、アルタ前の交番の横に本部テントがあり、大勢のYMCA職員、ワイズのメンバー、専門学校生徒さん、小さな子どもたちが声を張り上げておりました。わたしは最近手に入れた「ウェアブルカメラを頭にマキつけて、募金する側から活動する皆さんの動画を撮らせて頂きました。しかし、初めてのトライだったために、耳の上にあるスイッチ操作を間違えてアルタ前は失敗してしまったことが、後で分かり、「あとの祭り」となりました。つづいて西口の小田急前で、社会体育保育生とホテル学校生の募金を取材。つづいて南口の甲州街道の陸橋上で2箇所の取材をいたしました。ここでは、東京山手クラブの機能メンが募金をしているところを取材、写真を撮らせていただきました。今年のチャリティーランの取材では、自分も走りながら収録する予定であり、本日はその為のリハーサルではありましたが、一年間郵便局でもらった貯金箱に入れて集めた小銭を本日開封し、募金して回った国際協力募金の顛末でした。

チャリティーラン報告

長津 徹

9月23日(祭)、連休の締めくくりに木場公園で第29回チャリティーランの委員として行って参りました。当日は朝から晴れ上がり少し暑いぐらいの陽気です。8時半に集合し、村杉委員長(東京北クラブ)の挨拶の後、早速設営にかかります。テントなど重いものは学生や達若者にまかせてワイズはコース作り、パイロンとポールで歩行者とランナーを区切る仕事です。

10時15分からはちびっ子達のレース「こどもラン」です。まず小学生、次に大人付き添いの幼児のレース、全部で約650名の親子が大人と同じ一周1.3Kmを走りました。参加した子供はご褒美のミニカーがもらえます。

11時より開会式。まずYMCAの子供とインターナショナルスクール生徒によるチアダンスとヒップホップダンス。我々はコース整理のため小旗を持ってスタンバイします。12時20分いよいよ65チームの第一走者がスタートしました。

障害者には伴走がついて合計420名が走りました。コスチューム賞狙いの着ぐるみを着て走るチームもあります。結局白人金髪美人揃いの女性チームがコスチューム賞を取りました。衣装はなんと勤務先原宿のクッキー屋さんのユニフォームだそうで、チアリーダーのようなミニスカートで走ってくれました。

表彰式・ラッフル券抽選会・閉会式となり、その間も我々はコース撤収作業に追われます。積み込みなどはこれまた若者に任せ

西条便り

Vol. 135

東広島クラブ 佐々木集子さん

9月26日メネット月なので広島クラブがメネット例会をYMCAの施設、コンプレックス湯来でするので参加させていただきました。声をかけたのですが、結果わたし一人でした。呉クラブの造ったピザ窯があり、そこでピザやパンを焼き、屋外ではバーベキュー芝生の庭で川のせせらぎを聞きながらワイワイと楽しい時間を過ごしました。

よく27日はYMCAのワイワイバザーで恒例の餅つきをしました。この餅つきも今年が最後かもしれません。YMCAが来年3月で今の場所から移転します。なにかの形で残したいのですが・・・

今月の京都プリンスクラブ

Vol. 54

京都プリンスクラブ 岡西博司さん

今月は何と言っても、佐波江での「ファミリーキャンプ」に尽きます。

佐波江年間利用の第2弾のプログラムです。一泊二日で、約10家族の参加者を迎え(約30名)2のリーダー達が運営してくれました。僕達プリンスのメンバーがサポートしました。

プリンスが考えたプログラムにYMCAが乗ってきたのです。少し鼻が高いです。考えてくれた宇高ワイズに感謝です。

強調月間: EMC-E

会員増強委員会

Extension (クラブ拡張=新クラブ設立)

ワイズメンの運動を直接拡大強化する事業であり、クラブの絶えざる課題である新クラブ作りは長い地道な努力が必要です。時にはあなた自身が、新クラブのキー・メンバーとして移籍する覚悟が必要です。新クラブの会員となる数名の核となる人物が掌握できれば、あとは新クラブのチャーター目指して頑張るだけです。

サンライズは21年前「瓢箪から駒」で東京八王子クラブの親になりました。そろそろ地道な努力を重ねての子作りを真剣に考える時期に来ていると思われまます。みんなで考えてみませんか。

編集後記

都合で出発が大幅に遅れ、私だけオーストラリアへ行けなくなりました。もっともタバコにお酒(オーストラリアのワイズメンはあまり嗜まない)、好き嫌いの多い私がホームステイの食事に馴染めるかどうか、とても不安ではありましたが、結果オーライではなかったかと思っています。まあ、それにしてもワガママ者が、スケジュールは全てあちら任せでのひと月をどう頑張ってきたのか楽しみです。

ウチの多聞もまもなく14歳。すっかり年寄り犬になり、目も耳も足も衰え、ヨタヨタしています。散歩に出れば道の真ん中でボーっとしてみたり、前へ進まず匂いをしつこく嗅ぎまわったり、今までと同じ時間で距離は半分、同じ距離を歩くと時間は倍近くかかり、自分の健康散歩にはならなくなりました。(Non.O)

山中湖センターだより

山中湖センター 天野愛巳さん

皆様、こんにちは。

9月中旬を過ぎ、寒さが一段と増しております。夏もあつという間に過ぎ、もうすぐ冬の気配がしてきました。

9月は学校行事でのご利用が増え、まだまだ山中湖センターにも子ども達やキャンパーの声が聞こえてきます。寒さに驚く声も多くなって参りました。

4月から山中湖センターに勤務しておりました一場祐樹は、この夏で退職いたしました。

スタッフ3人ですが、より良いキャンプが行えるよう、頑張っております。

YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

1. 9月5日(土)、『バングラデシュの子どもたちの教育支援』と『ネパール地震の復興支援』のため、恒例の国際協力街頭募金を、昨年までの渋谷駅周辺から新宿駅周辺に変更して実施しました。会員、ボランティアリーダー、学生、留学生、メンバー、ワイズメンなど158人が、全力で気持ちをこめて呼びかけを行ない、総額171,411円が寄せられました。

2. 9月6日～11日にかけて第19回アジア・太平洋YMCA大会が韓国テジョンで開催され、東京YMCAからは職員が2名参加しました。

3. 「第29回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」が9月23日、木場公園で開催されました。65チーム420名のランナーが走り、昨年から実施している「こどもラン」には、幼児、小学生が約650名の親子が参加し、1.3kmを走りました。運営協力のボランティア、保護者、応援者などと合わせると1800名が参加しました。また多くの企業、団体からも協賛とご協力をいただき、支援金660万円は障がいのある子どもたちの活動のために用いられます。

4. 1932年に始まった東京YMCAの代表的な少年キャンプ「野尻学荘」が今年で開催80回を迎え、また「野尻小学生キャンプ」が第20回となることを記念して、チャリティーコンサートが9月25日に霊南坂教会で行なわれました。本法人理事の飯 靖子氏(オルガン)と、ご子息でヴィオラ奏者飯 颯(あきら)氏が出演して行われ、会場には109名が訪れました。

5. 今後の主な行事日程

- ・山手センターバザー 10月18日
- ・会員ソフトボール大会 10月12日 (出版健保グラウンド)
- ・台北YMCA創立70周年記念式典
10月25～27日(台北YMCA)
- ・ソシアスフォーラム2015 11月 7日(山手センター)
- ・YM/YW合同祈祷会 11月12日(東京YWCA)
- ・親と子のハーモニーコンサート
11月14日(玉川聖学院谷口ホール)